

(お知らせ)

## 福島第一原子力発電所6号機制御棒で発見された 欠損部分等の回収結果について

平成18年1月25日  
東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所

当所6号機は定期検査中ですが、使用済燃料プール内において制御棒の外観点検を実施<sup>\*1</sup>していたところ、平成18年1月12日、制御棒の冷却孔に針金らしきものが1個(長さ約15mm、太さ約1mm)あることを、当社社員が発見いたしました。

また、引き続き点検を実施していたところ、1月18日、最初にひびが発見された制御棒の破損部の一部に欠損部(幅約8cm×高さ約11cm)があることを確認いたしました。(平成18年1月13日、18日お知らせ済み)

針金らしきもの1個については、1月13日に回収しましたが、回収時に細分化してしまいました。回収物について調査した結果、チャンネルボックス<sup>\*2</sup>のはく離片<sup>\*3</sup>であると判断いたしました。

また、制御棒の破損部に確認された欠損部分については、1月19日、炉内において、当該制御棒が装荷されていた位置の近傍より回収し、形状が当該欠損部と一致することを確認いたしました。

当該制御棒の破損の原因については、プラント停止後に実施した制御棒の動作確認において、制御棒引き抜き後の挿入時に、既に発生していたひびが燃料集合体下部と干渉したことにより発生したものと推定いたしました。

今後、引き続きひび発生の原因について調査いたします。

以 上

### \*1 制御棒の外観点検を実施

平成18年1月9日、制御棒の動作を確認するための準備作業を実施していたところ、制御棒1本の表面にひびらしきものを確認した。その後、当該制御棒の点検を行ったところ、ひびおよび破損箇所を確認したことから、同一仕様の他の制御

棒（16本）の外観点検を行うこととした。なお、破損はプラント停止後の制御棒動作確認にて発生したものと推定した。

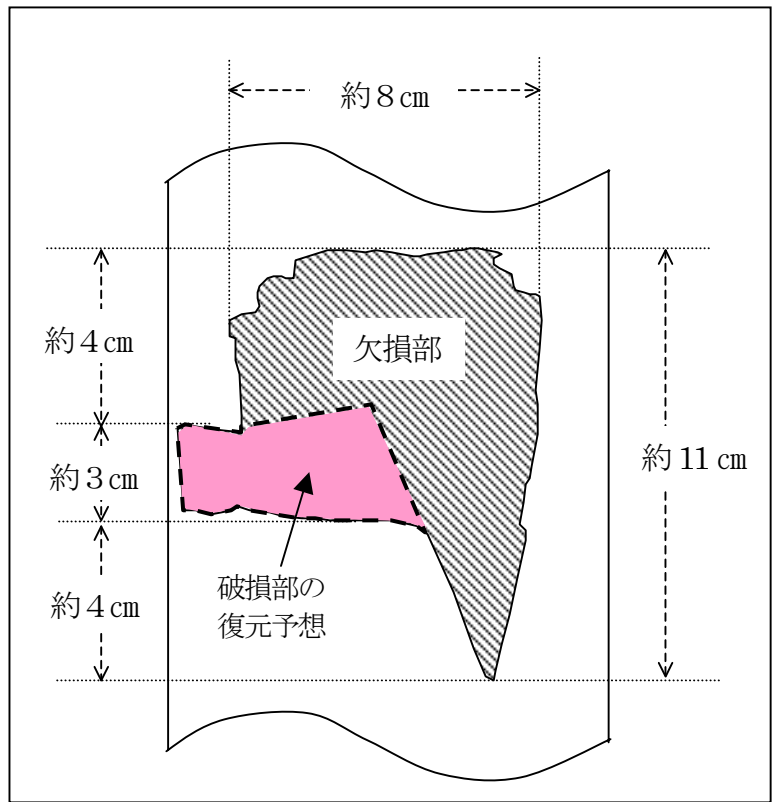
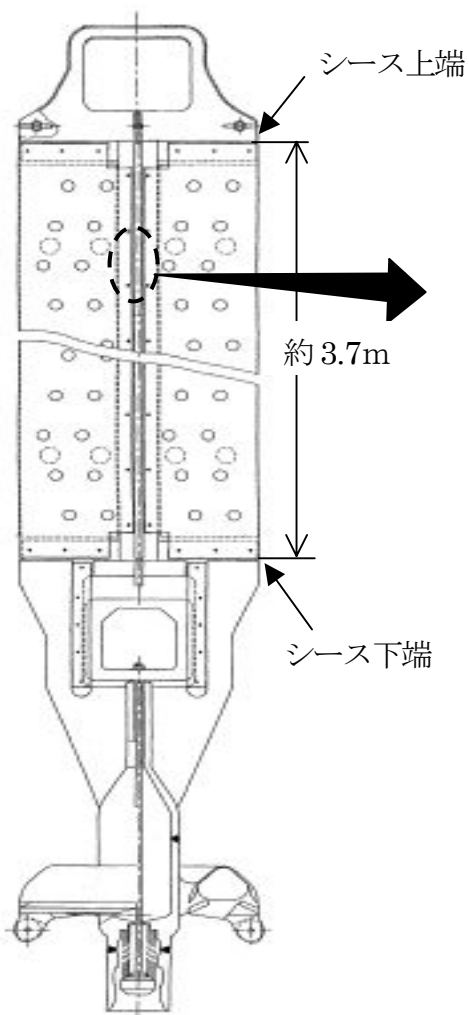
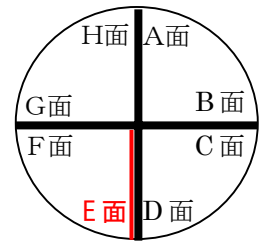
（平成18年1月10日、11日お知らせ済み）

\*2 チャンネルボックス

燃料集合体を覆っている四角の筒状のもの。原子炉冷却材流路の確保、制御棒のガイドの機能を持っている。材質はジルコニウム合金。

\*3 はく離片

原子炉内にごくまれにある薄いまく状のもので、もろいものであるため燃料集合体や原子炉設備に影響は与えない。



位置：E面 シース上端より約0.6m下部



回収した欠損部

## 制御棒破損部の状況